

マレーシアマラッカ技術大学

Universiti Teknikal Malaysia Melaka

UTeM



UTeMは、マレーシアのマラッカ州ドリアン・トゥンガルにある公立大学です。広大な敷地に建物が点在していて、10000人の学生が学んでいます。クアラルンプール国際空港からはUTeMのバスで移動します。大学まで約2時間ほどかかります。



大学のあるマラッカという街は、かつて東西貿易の重要な港として栄え、ポルトガル、オランダ、イギリスなどの影響を受けた建築や文化が色濃く残っています。ユネスコ世界遺産にも登録されており、赤い建物が印象的なオランダ広場や、歴史的なセントポール教会、ジョンカー・ストリートのナイトマーケットなどが人気です。UTeMのプログラムでも、これらの場所を見に行きます。右の写真はジョンカー・ストリートのナイトマーケットに行ったときのものです。

UTeMのキャンパスには、TMAC（徳島大学—マレーシアマラッカ技術大学アカデミックセンター）があり、研究や教育の分野で、徳島大学とUTeMは様々な交流があります。徳島大学の学生は、インターナショナルオフィスが実施するEnglish Summer Campだけでなく、理工学部が実施するVR ProjectやDesign Workshopといったプログラムにも参加できます。



UTeMのEnglish Campでは、午前中は英語の授業を受け、午後は大学周辺の様々な場所や施設を訪問し、マレーシアの歴史や文化をじかに学ぶことができます。右の写真は、大学のすぐそばにある、Malaysia Heritage Studios（マレーシア伝統文化スタジオ）へ行ったときの写真です。



滞在する場所はUTeMの学生寮で、男性と女性に分かれています。部屋は二人で使用し、3つ程度の部屋でバス・トイレを共有します。エアコンはありません。朝ごはんはと昼ごはんは研修費用に含まれますが、夕食（外食）は自分で支払います。

UTeMのEnglish Camp最大の特徴は、UTeMの学生が最初から最後までずっと一緒に行動してくれることです。日本や徳島大学に関心のあるマレーシアの学生たちと、朝から夜まで英語で話すことができます。参加する人は、ぜひ日本や徳島の文化が紹介できるようにしておきましょう。

プログラム前後、および期間中に作成するポートフォリオを作成し提出すると、大学公認のデジタルバッジがもらえます。また、条件がありますが、奨学金も受け取ることができます。